

暮らしの瓦版

2013年2月号

住宅リフォームのはじめに(5)

定期的なメンテナンス2 外壁等)
外壁面のメンテナンスは、タイルやレンガについては目地部分のメンテナンスと破損部分の補修がポイントです。目地が傷むとタイルやレンガの裏に水が入り接着剤や下地モルタルの劣化が進み、タイルが剥がれ落ちる危険が生じます。それを防ぐために、10年を目安に目地のメンテナンスが必要となります。サイディングの場合、表面の塗装の状態が耐久性に大きな影響を与えます。表面の塗装が傷むと、本体部分が水を含んで膨れてしまうこともあります。そこで塗装の種類にもよりますが、10～20年の範囲で再塗装などのメンテナンスが必要です。モルタル壁下地に仕上を行っている壁については、壁面のヒビと仕上の劣化の両方に注意が必要です。壁面に大きなヒビを発見した場合には、早急に補修を行う必要があります。仕上材の劣化は仕上材の耐久性次第ですが、塗装系の仕上材は10年毎に、塗り系の仕上材では15年程度を目安にチェックを行い、劣化していたらリフォームを行ないましょう。木質系の壁材は、色合いを気にするかどうかでメンテナンスが大きく変わります。木材に腐れや割れなどが無ければ(無いように上手く張ってあれば)、木材はそのままでも高い耐久性を発揮します。しかし木材保護塗料などを塗装していないと、急速に板の色がくすんだり汚れ色になったりします。そのような色が嫌いな場合は、木材保護塗料を健全に保つ必要があるのです。木材保護塗料は3年から長くても5年毎に再塗装が必要です。

窓廻りについては、木製サッシでは枠廻りの木材の傷みや隙間がメンテナンスのポイントです。アルミサッシではサッシ自体の変形や隙間の補修だけでなく、窓周囲のコーキングと呼ばれる防水部分を健全に保つ必要があります。コーキング材は日光に当たると劣化が進みやすいという傾向があるので、面の窓廻りは特に頻りにメンテナンスが必要となります。10年ごとを目安に、チェックとメンテナンスを行なうべきでしょう。

定期的なメンテナンスについては、木部を除いて10年程度が主な周期です。10年毎に外部をしっかりとチェックして、傷みが見られる部分をしっかりとメンテナンスすることが、住まいを長持ちさせるポイントなのです。



季節の風物詩 「初午・初午大祭」



初午とは、2月最初の最初の午の日を指している。今年2月9日です。京都の伏見稲荷大社の神が降りた日とされ、全国各地にある稲荷神社にお参りし、開運、福徳、商売繁盛を祈願します。また、地方によってはこの初午の日を蚕や牛馬の祭日とするところもあります。もともと稲荷神社のお祭りで、稲荷とは「いねなり」の意味から五穀をつかさどる「倉稲魂」が祀られており、豊作を祈ります。

生活 「2月 世界の祭り」



2月は、季節を楽しむお祭りが盛りだくさん。国内外のこの季節ならではのお祭りを見てみましょう。

さつぽろ雪まつり：札幌市で毎年2月5日～13日にかけて行われます。1950年代に市民の小さな祭として始まったものが次第に全国に知られるようになり、札幌オリピックなどを契機に有名になり国内外からたくさん観光客が訪れます。

紋別流水まつり：毎年2月上旬に紋別市内中心部から南へ2kmのところにあるガリヤ地区で開催され、大氷像を中心として市内のいろいろな団体が作成した氷像が並びます。

かまくら祭り：横手市で毎年2月15～16日に行われる。直径4m、高さ3mほどもある大きな「かまくら」の中に雪で祭壇を作って水神様を祭り、かまくらの中で子供たちが甘酒を飲んだりして過ごす伝統的な民俗行事です。

梅まつり：毎年2月下旬から3月末頃にかけて水戸借楽園で行われるイベントで、100年以上の歴史があります。借楽園には約100品種、3,000本の梅の木があり、品種によって開花時期が少しずつ異なるため、比較的長い期間にわたって梅を楽しむことができます。

西大寺はだか祭り：毎年2月の第三土曜日に行われる。岡山県岡山市にある金隆山西大寺観音院の祭り。祭り当日の真夜中、一切の明かりが消された境内に群がった数千人のふんどし姿の男達によって、寺の「御福窓」と呼ばれる窓から任職が投げられる2本の宝木をめぐり激しい争奪戦が繰り広げられます。

長崎ランタンフェスティバル：長崎市で旧正月前後に行われる中国正月(春節)を祝う祭り。長崎新地中華街や湊公園などを中心に12,000個のランタンが灯り、龍踊りや中国獅子舞も行われます。

カーニバル：キリスト教西方教会の節気の一つ。毎年イースターの46日前、「肥沃な火曜日」と呼ばれる日を最終日として1週間～11日間程行われる祭り。かつては宗教的な色合いが強かったが、現在では多くが世俗化しており、ヨーロッパや中南米などキリスト教西方教会の文化圏各地で、パレードなどを中心とするイベントが行われます。リオデジャネイロやベネチアのカーニバル、ニューオーリンズのマルディグラなどが特に有名です。

ケベック冬祭り：毎年1月末から2月にかけてカナダのケベック市で行われます。元々この地区で古くから続いていた伝統的な冬祭りをベースに行われているイベント。旧市街全域に設けられた特設ステージや氷の宮殿、氷結したセントローレンス川や雪と氷で造られた遊園地などの会場で、コンサートやパレード、犬ぞりレースなど、雪や氷にまつわる様々な催しが行われます。

春節(旧正月)：旧暦の1月1日。中華文化圏やその近隣諸国では新暦の正月よりこちらの方を大切にしています。正月関連のイベントも行われるが、たいていは家族そろって家でゆっくり過ごすことが多い。端午節、中秋節とならぶ、「三大節」のひとつ。

生活 「立春 立春大吉」



立春は二十四節気のひとつで、この日から雨水までの期間も立春といえます。この日から立夏の前日までが春とされ、その最初の日。二十四節気の元日に当たり、立春の前日が節分です。節分には「福は内、鬼は外」と呼びながら豆まきをして邪気、疫鬼を追い払い新しい年を健康に過ごせるよう願う風習があります。

なぜ豆かという「魔を滅する」からきています。歳の数だけ食べるのは豆が健康によい健康食材だったからでしょう。豆を打ちつけられる鬼は赤鬼、青鬼、黒鬼、赤鬼は、満面朱をおびて怒りにたける姿、欲の亡者となって血も涙も無い青鬼、愚痴で人を疑い嫉妬深い腹黒い人を黒鬼に喩えた者です。このように、煩惱を仏教では通俗的に鬼と呼んでいます。「福は内、鬼は外」と赤・青・黒の三匹の鬼を追い出して、清く正しく、美しい心でありたいと願ったのでしよう。

節分の豆をよく噛み締め、様々な煩惱を捨てて、幸福な人生を切り開けるように、立春には「立春大吉」と書いた紙を貼る習慣があります。「立春大吉」の文字は縦書きにすると左右対称になり、厄除けや災難除けのまじないとされ、立春大吉のお札を貼り、外から、福が入ってくるようにと外から向って家の門柱の右に1年間、貼っておきます。「立春大吉」の文字は可能な限り左右対称となるように書きます。書き損じも効果がありますので広げて大切にしまっておきましょう。

立春は「雑節」の起算日です。八十八夜、二百十日、二百二十日はすべて立春の日から数え始めます。九州や太平洋側の温暖な地域では梅が咲き始めるころもあり、立春の後で初めて吹く南よりの強い風を春一番といいますが、「寒中お見舞い」は立春の前日までで以降は「余寒お見舞い」(2月下旬ごろまで)になります。

「復興税とは」

災害などにより甚大な被害を受けた地域を復興させるため、必要な財源を確保する目的で行う税制措置。具体的には、時限的な増税として実施されます。復興財源の調達には、公債発行で行われますが、増税をすることでかかについては意見が分かれ、関東大震災と阪神大震災では増税は行われませんでした。東日本大震災では「復興特別所得税」及び「復興特別法人税」が創設されました。

今回の復興特別税の対象となる税目は所得税・法人税・住民税。所得税においては現在の所得税額に2.1%の税率を乗じた金額を平成25年から平成49年までの25年間導入されます。法人税は3年間、10%が付加されます。住民税は平成26年度～平成35年度までの10年間適用となります。

修繕リフォームから新築工事の建物の事
優良土地活用から物件探し等の土地の事
北本建設株式会社
埼玉県北本市古市場3-131 TEL: 048-591-1234
URL: http://kitaken1970.com FAX: 048-591-0019

2月 暮らしのカレンダー

如月、股春、梅見月、建卯月、仲春、仲の春、初花月、雪消月、雪消月、麗月、小草生月

3日 節分	11日 建国記念の日	24日 東京マラソン
4日 立春	14日 聖バレンタインデー	*中国春節(10日)
8日 針供養	18日 雨水	*札幌雪まつり(5-11日)